

地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

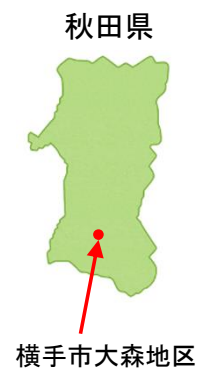
【地区の概要】

- 稲作が中心の平地農業地域
- ほ場の大区画化で農地の集積が一定程度進んだものの、高齢化や農業従事者数等の減少により担い手が不足し、多様な経営体の育成・確保及び担い手への更なる農地集積が課題。

【支援内容・背景】

- 高齢化や離農による農地の引受けに対応すべく、担い手の経営面積の拡大が求められており、担い手の生産体制強化が必要。
- 助成対象者は水稻を単一経営する法人であり、地区の農地集積を推進するため、更なる経営面積の拡大を図るとともに特別栽培米の取組による農業所得の向上を計画。

このため、水稻経営における経営力強化の取組モデルとして支援。



助成対象者「農事組合法人アグリオフィス悠農舎」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成20年 法人化、経営改善計画の認定

《事業活用の背景》

- 経営力強化のためには、経営面積拡大と特別栽培米の取組による販売単価向上が必要。よって、耕うん、整地作業等の効率化・省力化に資する高性能機械及び雑草対策に資する除草機等を導入。

【事業実施時の状況】 〈R3年度〉		【現在の経営状況】 〈R5年度〉
○付加価値額 0.6百万円	《事業による整備内容》	○付加価値額 7.5百万円 (1250%)
○経営面積 14ha (水稻)	○トラクター、ロータリー 各1台 事業費 7,238千円 (国費 3,290千円)	○経営面積 20ha (143%) (水稻)
○輸出用米 0t	○ハロー 1台 事業費 1,298千円 (国費 590千円)	○輸出用米 2t
	○アーム式草刈機、除草機 各1台 事業費 5,984千円 (国費 2,720千円)	



事業の効果

《対象者》 水稻の効率的な作業体系確立により経営面積拡大が実現するとともに、特別栽培米の取組や輸出用米の取組で付加価値額が増大。

《地区》 農業従事者が減少する中で、水稻の生産体制が強化され地域農業をけん引する経営モデルが確立。